

申22号本人への打診がないまま出向先会社の勤務表に 氏名が記載された事象に関する緊急申し入れ団体交渉②

第3項：出向先への通告は本人に打診し、十分なコミュニケーションを取った後とすること。

- (組) 本人の出向について打診をして、十分なコミュニケーションをした後に、出向先を通告するという流れで合っているか。
- (会) コミュニケーションというところはもちろんやるものだと思っているが、必ずそれが先かと言うとそういうケースが100%だとは限らない。
- (組) 本人が納得しなくても任用の基準でやっていくということか。
- (会) 必ずしも異動については本人の希望ばかりということではない。本人の希望に添えない所はあるかもしれないが、任用の基準で運用をかけているところである。
- (組) 出向となると労働条件が大きく変わる。いつなん時出向になるかと不安を抱える社員が増える。出向を実施するタイミングは、突発的に発生することもあるということか。
- (会) 無いとは言えない。十分なコミュニケーション、説明というのはやっていく。
- (組) 名前が出ているがどうだと話した上で、出向先に名前を出すべきではないのか。
- (会) 今回の事象に関しては、この段階ではコミュニケーションを取る段階には至っていない。
- (組) 本人にコミュニケーションも取らないで打診する、事前通知を出すことはあり得るのか。
- (会) 事前に通知を渡す前段でのやり取りというのはやらせてもらっている認識だ。
- (組) この事象が出た時点で、現場に対して不安を与えたということは認識しているか。
- (会) 不確定の情報が記載されたことについては、個人情報の取り扱いは指導している。
- (組) 当該社員に対して、この件に関してのフォロー体制というのはやってもらえるのか。
- (会)
- (組) これはコミュニケーションの一つだと思っているのだが。それがなければ、コミュニケーションなんて成り立たないと思うのだが。
- (会) . . . 箇所においては、日ごろの業務といったところで、管理者と接する場面のコミュニケーションを通じて、安心して働けるようにお話しする場面はあろうかと思う。管理者から一方的ではなくて、コミュニケーションというのは双方向的に取るものと思う。
- (組) 双方でコミュニケーションを取るということは非常に大事だと思うので、そこはしっかり現場の方でもフォローはして頂きたい。早めにコミュニケーションを取って頂きたい。
- (会) それは今でも取らせて頂いているという認識である。
- (組) よろしくお願ひしたい。

第5項：電力技術センター社員の二度目の出向についての考え方を明らかにすること。また、二度目の出向は希望者のみに実施し、明確に出向の理由を伝えること。

- (組) 二度目の出向と一度目の出向に違いはあるのか。
- (会) 一度目の出向は、技術を学びに行く。その上で二度目については、今まで培ってきたものを出向会社で発揮していただく、もしくは施工会社でやっていたものをJRに吸収して、広めていただくということはある。
- (組) 必ず出向や事前が出る前は、本人説明がしっかり理由を説明して行われる認識で良いか。
- (会) コミュニケーションを取るというのはその現場、現場によって違う。いずれにせよコミュニケーションを取りながらやっていく。
- (組) 当該社員に対して名前が出たこと、経緯を現場長からしゃべることを責任持ってやるべきだと思うので、その辺はやっていただきたい。
- (会) ご主張としては受け取る。